

News Release (2)



【平成28年8月18日(木)発表】

▼第40回全国育樹祭式典行事参加者に配布する 南丹市からの記念品について

▼概要

全国育樹祭や全国植樹祭の開催にあたっては、開催地の市町村が参加者に、地元の特産品や地場産業を活用し作成した品物を記念品として配布されています。

南丹市にもさまざまな特産品や名物がありますが、第40回全国育樹祭における南丹市からの記念品については、単に特産品や名物を配布するのではなく、今回の育樹祭のコンセプト「育樹の輪 ひろげる森と 木の文化」にあてはまるとともに、「森の京都」である南丹市において、市民の方々が取り組まれている事例を紹介するような形で、記念品をお渡しすることとしました。

【南丹市からの記念品】

全国育樹祭開催地でもある日吉町世木地域（生畑）において、地域の有志の方々が里山の再生と、60年前に途絶えた炭焼き技術の復活・継承を目的に取り組まれている「里まる」の木炭「丹炭」に、南丹市からの「森」に対するメッセージを添えて、南丹市地域おこし協力隊隊員がデザイン協力したパッケージに入れてお渡しします。また、メッセージについても、南丹市地域おこし協力隊隊員が原文を作成しています。

なお、パッケージは、木が環境を浄化し、農業と林業の末永い繁栄を祈願するイメージとなっています。

(例) ○第39回全国育樹祭（平成27年・岐阜県揖斐川町）

- ・岐阜県 本美濃紙を使用したしおり
- ・揖斐川町 揖斐茶の茶葉

○第67回全国植樹祭（平成28年・長野県長野市）

- ・長野県 八幡屋磯五郎の七味
- ・長野市 長野市有林産のヒノキを使ったコースター
- ・松本市 白ワイン（松本市内に宿泊した方のみ）

▼この記事に関するお問い合わせ

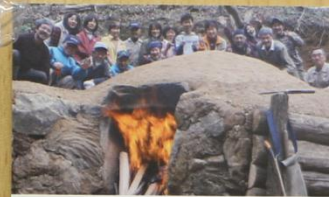
農林商工部 全国育樹祭推進室 担当：野々口

（電話 0771-68-0111）

記念品



同封物




炭には水や空気の浄化作用があり、お正月のお清めのために紙に巻いて神棚に飾る地域もあります。

【「丹炭」使用方法】

- 炭を袋から出し、薄手の布に包んで匂いが気になる場所（冷蔵庫や下駄箱）に置いてください。
- かごに入れ玄関に飾るのにも適しています。粉が落ちますので紙などをお敷きください。
- 定期的に天日干しすれば、消臭能力が回復します。

製造者「里まる」 事務局 京都府南丹市日吉町生畑向垣内16-2
電話 090(3715)1082



ようこそ 森と人が交わるまち 南丹市へ